

会員の声 *あはれ*



入会して増えた楽しみ

渡辺 正之 (下山)

ここでお世話になって「10年です」と教えていただきました。最初の仕事はライスセンターの作業であったと懐かしく思い出しました。

昨年と同じ仕事をさせてもらいましたが、新しい機械も導入され当時と比べると大変楽になり有難く思いました。私個人としては草刈りがほとんどですのでこれからが本番間近です。仲間の皆様と一緒に頑張っていく事と毎月の15日を楽しみにしています。京丹波町シルバー人材センターの皆様よろしくお願い致します。私の motto は「挨拶からはじまる」です。



シルバー人材センターと第2の人生を

武内 光子 (塩田谷)

35年のサラリーマン生活を終え、第2の人生を救って下さったのがシルバー人材センターでした。

初めてお仕事を頂いたのが、野菜収穫の仕事でした。買って下さる方の気持ちになるのが大切と思ひ必死に頑張りました。それには指導して下さる方・上手な方の仕事を盗み取って「コツ」を知る事が大切と思ひました。

年を重ねても頭で考えてする事の大切さが必要とわかりました。

次の仕事は学校の用務員の仕事を頂きました。

小学校、2校、中学校、1校と私に出来るかと悩みました。でも自分が誠心誠意で、自分に出来る範囲で頑張ろうと思ひました。

手の届いていない所を美しくする事が大切と思ひ頑張りました。校長先生、先生方、生徒さんに喜んで戴きました。他にも会社の掃除、便所掃除もしました。他にも店に立ち、物を売る仕事や、いろいろの仕事をさせて戴きました。お仕事をさせて戴く中で感じましたのは、人間関係の難しさ、やっぱり仲良くするのが一番大切であると思ひました。シルバー会員さんはお互いに年を重ねている為互いの健康の気遣いも大切と思ひました。

どんな仕事を戴いても真面目に仕事を下さった方の気持ちを忘れず頑張るのが一番と思っております。

年を重ねて参りますが、自分に出来る仕事はやらせて頂きます、今後共よろしく願ひします。

最後に辛い仕事も楽しい仕事も頑張ってきてお友達が多く出来ました。

これは私の宝物です。ありがとうございました。



見え始めた草刈りの極意

梅原 主次 (小畑)

シルバー人材センターに入会して早や5年目になります。

定年退職後は家で米作りや家庭菜園をやっていましたが、シルバーに入会を勧められ、何の技術もないけれど草刈り作業なら出来ると思ひ入会しました。たかが草刈りと思ひていましたが草の種類や草丈の高低、平地・急斜面等を考慮した草の刈り方、刈刃(2枚刃、チップソー、ひも等)の使い分け等先輩のアドバイスをもらい安全作業の必要性を学ぶところが沢山あります。また、草刈りのように作業の結果が見える仕事は達成感があり、お客様から「ありがとう、綺麗になったね!」と声をかけてもらうと疲れも吹っ飛びます。これからますます高齢化が進み、草刈等の要望も増えていくことと思ひますので、多くの皆様の期待に応えられるよう頑張っていきたいと思ひます。



社会参画と健康寿命の増進 山田 和生 (中台)

定年退職を機に、余生をどう充実させて生きるか考え、2000年阿倍野から移住しました。もう満員電車で揺られることもない喜びと、素晴らしい自然を満喫する毎日でしたが、3年程した時、社会からの距離の遠さを感じ始め、自分から動いてライフスタイルを確立しなければと思い、シルバー人材センターに足を運びました。

最初にいただいた仕事は、京都縦貫道の工事の時に埋没する史跡の発掘調査でした。

塩谷古墳から山内一豊公ゆかりの三宮城跡と、皆で仕事した中で、古銭、陶器(土師器・須恵器・歳時用器)それに刀剣等を発見し、町の歴史・古代のロマンを感じ、大きい喜びに浸ることができました。

その後、10種を超える仕事をさせていただきましたが、その時々、先輩・仲間とのつながり、そして共に働く中で、町の歴史・風習、野菜の栽培方法等いろいろ教えていただき、生きがいを実感しているところです。

今後も、迷惑をかけることのないよう、自分にできる仕事を健康寿命を伸ばすためにも続け、仕事をした後の食事とビールにうまさを楽しみたいと願っておりますので、よろしくお願いいたします。



訪問介護に感謝 上西 ヤス子 (大朴)

何も知らない事でしたが、京丹波町福祉課の訪問型サービス従事者研修会に参加させてもらって、説明を聞き、利用者さんを支える重要なサービスだと聞き訪問介護に力を入れ頑張ってみようかと思いました。訪問介護は一人でのサービスをさせて頂く事で、何件か廻らせて頂きお家の中の掃除、風呂掃除、トイレ掃除、軒廻りの掃除などです。行かせてもらう日を気にして待っていて下さいます。

喜んで又長い間御世話にしてほしい。とも言っています。

私も元気をもらっています。一人ひとりがお互いに、かけがえのない存在です。たとえ介護が必要になっても認知症になっても、安らぎとよろこびのある毎日を送りたい願いは誰もが持っており、親切でやさしく訪問介護の仕事に誇りと責任感をもって力をいれて生きて行こうと思っています。

シルバー人材センターに入ってこそ、いろいろなお仕事を提供してもらって幸せな毎日があり、健康で毎日暮らしていける事を願って筆を止めます。(感謝)



前進あるのみ 今西 昭 (井脇)

シルバー人材センターへ入って、早、10年近くになり、人生第二の生活をがんばっています。

昔は私の人生は、15歳で学校を卒業して都会にあこがれ、職人奉公で頑張り10年余り色々あった生活でした。今から思い出せば職覚えの毎日、日々つらい事ばかりで、なんとか仕事を身に着け何年後に職人としての生活が出来始め、楽しい毎日に近づきました。若い時は誰しも色々ありますが、私ながら頑張って今日まで来たなあと思います。

60歳までは建築大工職人として新築住宅を建てて色々お客様と接してきました。自分が作った木造住宅は何年経っても懐かしい思い出作品として残り心ではうれしいものです。苦労は買ってでも頑張れと昔の方々から教わってきました。それが私の場合は当たり前でした。でも今から20年前頃から、建築ブームは少なくなり、私は次の仕事を考えるなんとか色々な職業に携わって今日まで来ました。

ところがいつの間にか60歳の時がきて大工職人はやめて次の仕事を探し、第二の人生作りとして頑張っている次第です。若い時の付き合いの方々を紹介してもらいながら、色々仕事をさせて戴き大変楽しい日々を過ごし段々年齢は上がっていき、でも私なりに70歳過ぎて年齢と体の調子を考えながら頑張りたいなあと思い、シルバー人材センターでの仕事を励みに進んで行ける所まで頑張りたいと思っています。

昨年10月から水道検針と行政文書配送等色々責任のある仕事に携わっています。

いつまで続くかは心配もありますが、とにかく行ける所までやりたい気持ちで御世話になります。健康第一で自分なりに頑張りたい気持ちで毎日を送っています。